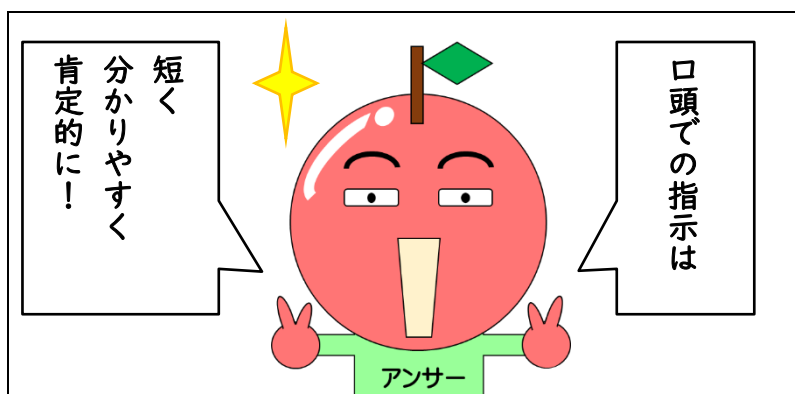
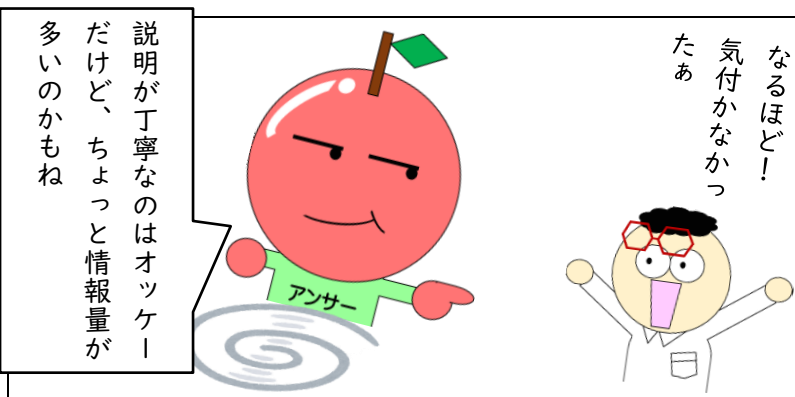
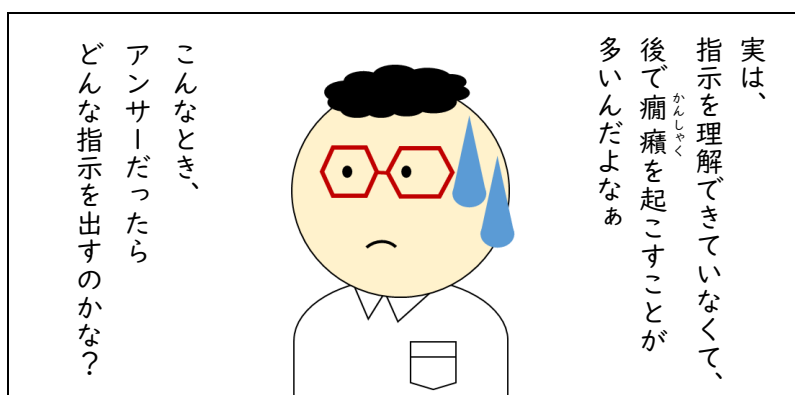
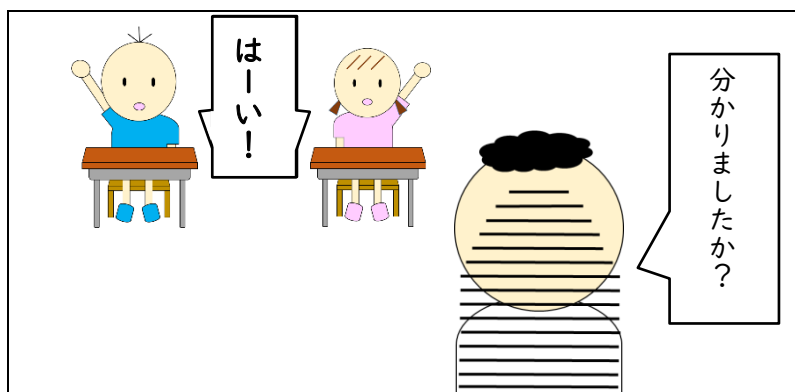


# Q19. 子供になかなか指示がとおりません。コツはありますか？



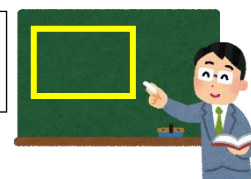
## 口頭での指示は「短く・分かりやすく・肯定的に」

### 口頭指示のポイント

短く (一度に一つの指示)	「先生が黒板に書いたところをノートに写してください」 →「黄色で囲んだところ(指差しながら)をノートに書いてください」
分かりやすく (具体的な行動で)	「あと少しがんばりましょう」 →「あと20回跳びましょう」「あと3分間走ります」
肯定的な言い方で	「騒がない」「うるさくしない」 →「静かにします」 「廊下は走らない」 →「廊下は歩きましょう」

子供の実態によっては、「子供が分かる形」(例えば、絵や写真を使うなど視覚的な手掛かり)で指示することも大切です。また、指示を出すときは、次のことも重要です。

- 子供の注意を喚起する(視線を引きつけさせて一旦、手を止めさせる)
- 姿勢を正すように促す



### 間接的な指示も活用する

□ **子供が分かる形で(認知特性等に合った方法で)、板書や掲示物等による間接的な指示を活用して、子供の主体的な行動を引き出します。**

例えば、日課や学習の流れなどを分かりやすく提示することで、教師による直接的な指示があまりなくても、子供が見通しをもって主体的に行動できるようになります。

- いつ □ どこで □ なにを
- いつまで/どれくらいの量を □ どのようなやり方で
- 終わったら次に何をするのか など



また、事前に予定(予定変更を含む)を伝えることにより、子供の不安感や混乱を軽減することもできます。

**4じかんめ ずこう**

- 色ぬり(クーピー)
- 20 ぶんかん
- おわったら、かたづけ  
→きゅうしょくのじゅんび

写真やイラストを用いたり、チェックリスト風にしたりするなど、子供にとっての分かりやすさにこだわって作成しましょう♪

【文献】青森県教育委員会(2005):学習のつまずきや行動の困難さを理解し支援をするために(第2集)。

### よく一緒に読まれているQ

Q21「[子供をほめることを普段から意識していますが、どうもうまく伝わっていない気がします。](#)」

[目次に戻る](#)